

第105回 番組審議会 議事録

開催日時：2019年9月17日（火）15：30～16：30

開催場所：本社役員会議室

1) 出席委員（総数7名：出席数6名、欠席数1名）

小島香代子／中野洋介／加藤陽介／大畑卓也／塚本明子／近藤慎一

2) 審議番組の内容

番組タイトル 『Glocal Beat』

パーソナリティ 葵真弓

放送日時 2019年8月6日（火）9:05～11:00

番組概要

午前中の少しほっとした時間に、健康や教育、金融など生活のお役立ち情報や、地元での様々な話題を心地よい楽曲とともに発信していきます！

3) 審議の内容

【小島委員】

- ・キャリアが長くて実力があり、ラビーストを代表するパーソナリティだと思っている。
- ・美術館のオープニングやコンサートによくいらっしゃったりして、お会いすると立ち話をするが、元気で活発なパーソナリティの姿そのまま番組にも反映されている。
- ・皆さんに共感してもらえるテーマを選んでいるという努力はとても大変なことであるが、彼女の多趣味なところが番組にそのまま反映されているのではないかなと思う。安定感とマンネリは紙一重で、マンネリにならないようにするためにはいつもフレッシュな話題が必要であるため、本当に努力されていると思う。
- ・オープニングは前の番組との関連付けたお話をしており、前の番組を自然に受け継いでいるところがよい。
- ・新聞のピックアップでは8月6日にあった広島原爆の話題を取り上げており、それに加え、地元の話も面白い。カプセル玩具やマンホールカードなど耳寄りな情報がよかった。
- ・鼻歌グローバルは通して聴く習慣がないとわからない。もう少し大きく歌った方がよい。

- ・お茶の時間での本の話、池井戸潤の『ノーサイド・ゲーム』を取り上げていてよかった。
- ・「外国を知らない日本人よりも日本を知らない日本人の方が恥ずかしい」という言葉がよかったので、番組で毎回そのような言葉を1つでも入れるとよい。
- ・高校野球の開会式との同時進行の話は難しいが、映像がないため、空白の時間は不安になる。なので、空白をなくすような努力をした方がよい。
- ・実力のある方なので、引き続き楽しい番組を聴かせていただきたい。

【中野委員】

- ・落ち着いた話し口調は安心して聴くことができる。
- ・番組概要にある「午前中の少しほっとした時間に」を意識しているためか、リラックスして話していることがよく伝わってくる。
- ・アイスクリームの話のところで、最中が好きで、新しいアイスが出てくるとおっしゃっていて、どんな最中のアイスなのかなと思ったら、それは別のアイスのお話で、だけど最中が好きというのが少し聴きづらかった。
- ・お花の紹介の話のところで、説明の部分とご本人の印象の部分が交互に出てくるといのが、説明としてはわからない。
- ・新聞のピックアップで、「スタジアムでカウントダウンが始まりました。レストランに何秒おきに何という字が表示されました。」ということだけだったので、カウントダウンが何かということが最初はわからなくて、掲示なのか何なのかをわからない中で、その一言で説明が終わったので、どういう状況であるかが理解できなかった。
- ・メールアドレス言ってから、FAX 番号を言うのが、最後のメールアドレスを聴いて、「最初のは何だったのだろうか?」「ホームページのアドレスなのかな?」と聴きそびれてしまったのではないかと不安になった。メールアドレスと FAX 番号、同じことを挟んで言ったということが最初わからなかった。

【加藤委員】

- ・爽やかな声の方で、朝の番組にはピッタリ。
- ・前の番組との絡みで入るのが上手。
- ・お花の話のところで視覚的な情報を喋りで伝えるのが上手。
- ・カウントダウンの説明が足らなくて分かりにくい。
- ・鼻歌グローバルは1回の放送では理解しづらいが、他の番組にはないようなタイプの企画で面白い。
- ・鼻歌はあの分かりづらさが面白い。
- ・本の話や身近な話題の振り方が上手。

・原爆の記念日の話を「広島」と「6日」という二言で片づけてしまっていたため言葉足らずだった。

・言葉が出てこないという間が気になる。

【大畑委員】

○オープニング

とても明るい声で朝のコーナーとしてとても心地よく聞かせて頂きました。

駄菓子の話ではチロルチョコレートのことを「チロル」と省略されていたのが気になりました。私は「チロル」と聞いたことがなかったので“10円”と“駄菓子”というキーワードで初めてわかりました。地域的なものなのかもしれません。駄菓子からアートまでとても話題が豊富で、普段から取材活動に勤しんでいることがとてもよくわかりました。

○フリー

ハキハキと天気を伝えて頂きました。とても聞きやすく素晴らしいと思いました。

オルトシフオンの名前の由来がギリシャ語(ortho(真つすぐ) + siphon(管))であることなどは、つつい話題にしたくなるようなトークで、良くリサーチされていると思いました。聞いていた私も西山公園に行きたいと思いました。

○新聞ピックアップ

広島平和式典のニュースは厳かな雰囲気声を表現できており、驚きました。とてもアナウンス技術が高いと感じました。打って変わって、ラグビーやグランパスの話題ではとても明るい声で伝えており、好感が持てました。

マンホールカードについて、日時を2回繰り返していただいたことがとても良かったと思います。カードがもらえる場所についても2回繰り返すことで、マンホールカードが欲しい人は嬉しいのではないかと思います。

○ハナウタグローカル

aikoさんの「花火」の鼻歌とても楽しませていただきました。ヒントが少しずつ出てくるところがとても興味が引かれて良いと思います。

○お茶の時間

予約されている本について詳細に伝えて頂きました。ノーサイドゲームはラグビーの本であり、新聞ピックアップのコーナーの話題が振りになって良いと感じました。

○ココロアンテナ

夏の甲子園の誉高校の話題は、愛知県民だけでなく多くのリスナーが興味のある話題なのでとても良いと思いました。また、誉高校の林山侑樹主将や誉高校についての話題が豊富でとてもよく取材されていることに感心しました。

○エンディング

葵さんの軽快なトークのおかげで辛い暑い夏が、清々し感じられました。全体を通じて、内容も豊富で楽しく聞かせて頂きました。とても聞き心地が良く素晴らしいと思います。

【塚本委員】

- ・流暢で、滑舌が良く、雰囲気も良く、声も良く、耳触りも良い、と全体を通して思った。
- ・本やお花の紹介はリスナーの共感を得られるように話しているところ良い
- ・お茶のお話で、お茶を注ぐような効果音を使っているのは、リスナーとの一体感を生み出している感じがした
- ・オンエアされたときに選手宣誓などの情報を流していて、リアルタイムの出来事を話しているところが良いなと思った。
- ・写真屋さんの昔のコメントの中で「ちょっと悪いこともあったけど・・・」というような情報も入っており、今は今であるので放送でそのようなことを流すのはどうなのかなと思った。全部流すのではなく部分的にした方が良いのでは。
- ・空気が止まってしまうことや、マイクとの距離が遠くなってしまうということは気を付けた方が良い

【近藤委員】

- ・ラジオという価値観から見ると、誰が聴いている時間帯なのか、ターゲットは誰かということが気になった。
- ラジオというと、例えば、運転中のトラックドライバーの方や会社を出て営業車に乗っている営業車の方などが番組を聴いているイメージ。
- もう少し深く考えると、主婦の方は旦那が会社に行って子どもを幼稚園、小学校に送り出して、朝のバタバタが一段落した時間帯に聴いているのではないかと考えると、この番組の「午前中の少しほっとした時間」というコンセプトは合っているかもしれないが、会社の朝礼が終わって取引先に向かう営業マンが聴く内容ではないのかもしれない。
- つまり、この番組の場合は主婦の方がターゲットになるのではないのかなと思う。

- ・小さい頃から母親が AM ラジオを朝 6 時前からかけながら、朝の身支度を行っていたこともあり、僕の中でラジオは生活習慣の一部だと考えている。
- ・今でも朝はテレビではなく、ラジオをかけており、番組のコーナーを時報代わりにしている。(このコーナーが始まったら歯を磨く、このコーナーが始まっているってことは少し遅刻気味というような感じ)
- ・ターゲットとゴール設定がしっかりとできている番組はその人にとっては良い番組、ゴール設定が合っていなければ、その人にとって必要のない番組と考えることができる。

以上